


建築物名称	エフ・シー・アイ株式会社 研究所
受付日	平成29年12月5日
建物所在地	富士市大淵字元篤3814-3他18筆
構造規模等	鉄骨造／地上1階／延床面積2,915.00平方メートル／新築
建物用途区分	工場
建築主	エフ・シー・アイ株式会社 代表取締役 遠又達郎
設計者	KAWAJI環境設計室 川島隆裕
工事完了予定日	平成29年12月26日

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

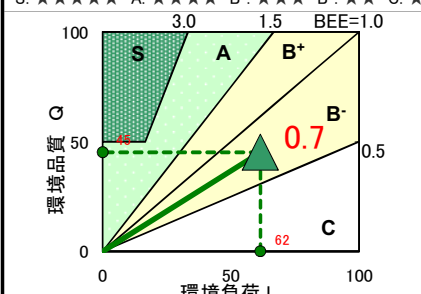
1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	エフ・シー・アイ株式会社 研究所	階数	地上1F
建設地	静岡県富士市	構造	S造
用途地域	市街化調整区域、防火指定なし	平均居住人員	14人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	
竣工年	2030年5月 予定	評価の実施日	
敷地面積	9,996 m ²	作成者	KAWAJI環境設計室 川島隆裕
建築面積	3,166 m ²	確認日	
延床面積	2,915 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.7 ★★★★★

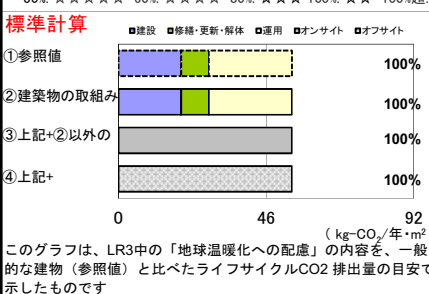
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★



2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

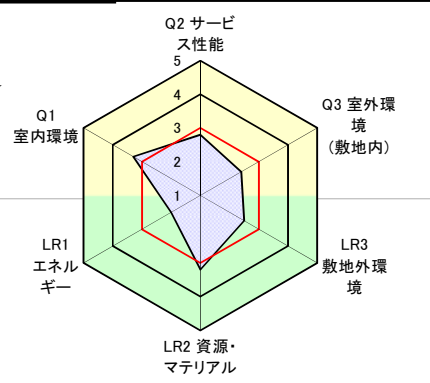
標準計算

30% ★★★★★ 60% ★★★★★ 80% ★★★★★ 100% ★★★★★ 100%超: ★★★★★



このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

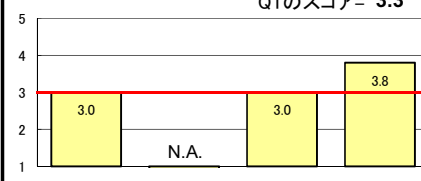


2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.8

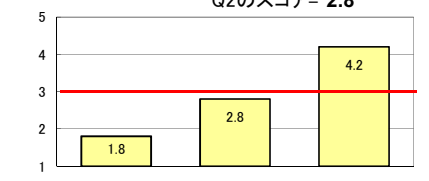
Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.3



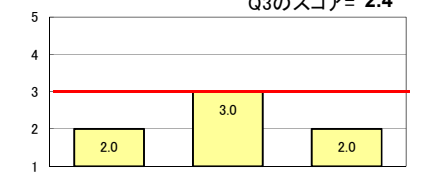
Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.8



Q3 室外環境(敷地内)

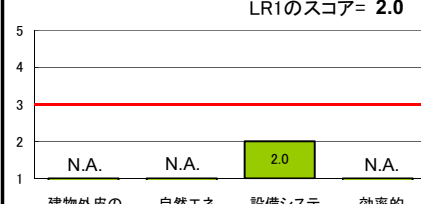
Q3のスコア= 2.4



LR のスコア = 2.5

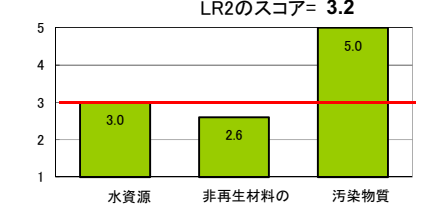
LR1 エネルギー

LR1のスコア= 2.0



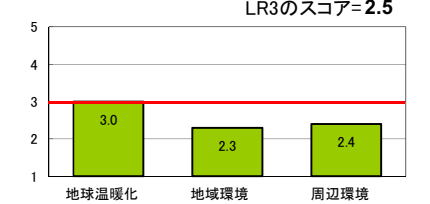
LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.2



LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 2.5



3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
これはCASSBEE静岡2016年版による評価結果である。		
Q1 室内環境 特になし	Q2 サービス性能 大スパン鉄骨造を採用することにより空間の自由度を高めた。	Q3 室外環境(敷地内) 既存地形を活かした外構計画とした。
LR1 エネルギー LED照明を設置することにより、省エネ化を図っている。	LR2 資源・マテリアル 鉄骨造を採用することで、部材の再利用をしやすいものとした。	LR3 敷地外環境 交通負荷の抑制を考慮し計画した。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



欄に数値またはコメントを記入

1. 建物概要						
建物名称	エフ・シー・アイ株式会社 研究所	BEE	0.7	BEEランク	B-	★★

2. 重点項目への取組み度						
重点項目	得点 [※] /満点		取組み度		評価	
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	2.6	/5			がんばろう	
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	3.0	/5			ふつう	
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	2.5	/5			がんばろう	
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	2.4	/5			がんばろう	
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)			評価 凡例	よい 4 点以上	ふつう 3 点以上	がんばろう 3 点未満

3. 重点項目についての環境配慮概要		内訳対応項目						
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。		得点		2.6				
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)								
<ul style="list-style-type: none"> ■室内環境対策 (①室温制御/②屋光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) ■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) ⑥敷地内を芝生により緑化した。 ■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用) ⑨LED照明の採用。 ■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) ⑪節水器具の採用 ⑫躯体と仕上げ材が容易に分別可能 ⑬ハロン消火剤を使用しない ■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善) 	Q-1	2	2.1	2.2	2.1.2	①	外皮性能	
	Q-1	3	3.1	3.1.3			②	屋光利用設備
			3.2	3.2.1			③	屋光制御
	Q-2	2	2.2	2.2.1			④	躯体材料の耐用年数
			2.2.2				④	外壁仕上げ材の補修必要間隔
		2.2.3				④	主要内装仕上げ材の更新必要間隔	
		2.2.4				④	空調換気ダクトの更新必要間隔	
		2.2.5				④	空調・給排水配管の更新必要間隔	
		2.2.6				④	主要設備機器の更新必要間隔	
						⑤	生物環境の保全と創出	
		Q-3	1				⑥	敷地内温熱環境の向上
			3	3.2				
		LR-1	1				⑦	建物外皮の熱負荷抑制
			2				⑧	自然エネルギー利用
			3				⑨	設備システムの高効率化
			4	4.1			⑩	モニタリング
				4.2			⑩	運用管理体制
		LR-2	1	1.1			⑪	節水
				1.2	1.2.1		⑪	雨水利用システム導入の有無
					1.2.2		⑪	雑排水等利用システム導入の有無
			2	2.1	2.1.1		⑫	材料使用量の削減
					2.1.2		⑫	既存建築躯体等の継続使用
					2.1.3		⑫	躯体材料におけるリサイクル材の使用
					2.1.4		⑫	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用
					2.1.5		⑫	持続可能な森林から産出された木材
					2.1.6		⑫	部材の再利用可能性向上への取組み
			3	3.1			⑬	有害物質を含まない材料の使用
				3.2	3.2.1		⑬	消火剤
					3.2.2		⑬	断熱材
					3.2.3		⑬	冷媒
		LR-3	1				⑭	地球温暖化への配慮
			2	2.2			⑮	温熱環境悪化の改善
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)								
■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性)		Q-2	2	2.1	2.1.1		⑯	耐震性
					2.1.2		⑯	免震・制振性能
				2.4	2.4.1		⑰	空調・換気設備
					2.4.2		⑰	給排水・衛生設備
					2.4.3		⑰	電気設備
					2.4.4		⑰	機械・配管支持方法
					2.4.5		⑰	通信・情報設備
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)								
■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり)		Q-2	1	1.1	1.1.3		⑱⑲	ユニバーサルデザイン計画
⑳天井高:8.9m、壁長さ比<0.1、空間の自由度が高い。			3	3.1	3.1.1		⑲	階高のゆとり
					3.1.2		⑲	空間の形状・自由さ
■室外環境(敷地内)対策 (㉑地域性・アメニティへの配慮)		Q-3	3	3.1			㉑	地域性への配慮、快適性の向上
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)								
■室外環境(敷地内)対策 (㉒生物環境の保全と創出/㉓まちなみ・景観への配慮/㉔敷地内温熱環境の向上)		Q-3	1				㉒	生物環境の保全と創出
			2				㉓	まちなみ景観への配慮
⑥敷地内を芝生により緑化した。			3	3.2			⑥	敷地内温熱環境の向上
■敷地外環境対策 (㉕温熱環境悪化の改善)		LR-3	2	2.2			⑮	温熱環境悪化の改善